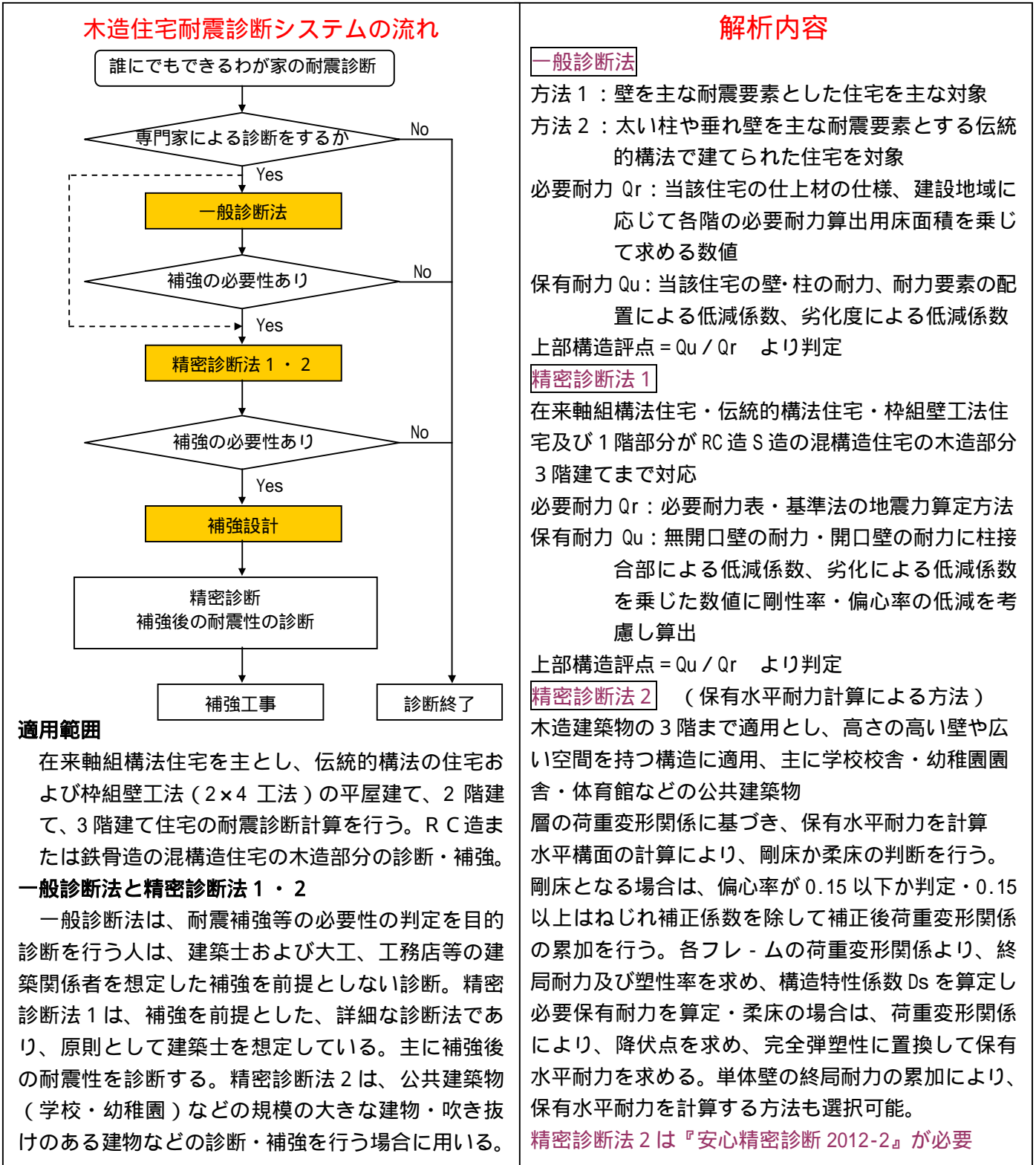


安心精密診断 2012 Ver.2.0 (P 評価 9-W)

3階建てまでの在来軸組構法、伝統的構法、枠組壁工法及び1階混構造の木造住宅
木造公共建築物・学校校舎、幼稚園の園舎、体育館の診断及び補強計画の検証
(一般財団法人)日本建築防災協会『2012年改訂版 木造住宅の耐震精密診断と補強方法』
に準拠・評価取得。一般診断法・精密診断法1・精密診断法2(保有水平耐力計算方法)に対応

木造住宅診断法『一般診断法』『精密診断法1』『精密診断法2』に対応!

このシステムは『2012年改訂版 木造住宅の耐震精密診断と補強方法』:(一般財団法人)日本建築防災協会発行に準拠し、プログラム評価(P評価9-W)を取得しました。本プログラムは、一般診断法・精密診断法1・精密診断法2より構成しています。公共建築物の木造校舎・幼稚園・保育所の耐震診断に対応。改修補強用として、現状診断結果の他に、補強案(1)~(5)の6種類のファイルを自動作成。接合部補強金物を自動算出(N値法・引抜耐力)



木造住宅耐震診断 入力・出力

精密診断(保有耐力診断法)特徴

精密診断計算条件

必要耐力計算方法選択

- 1 建築基準法施行令に準じて求める方法
- 2 必要耐力表を用いる方法

重心位置の計算 (選択)

1. 床面積等の略算
2. 柱軸力による精算

プログラムの特徴

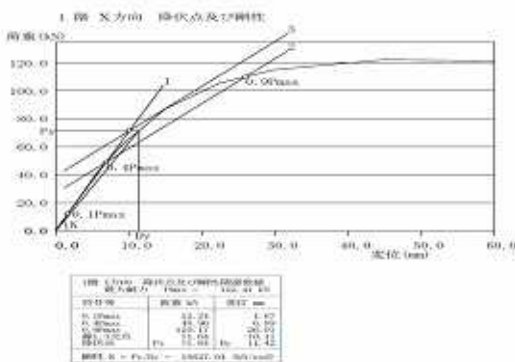
入力ミスはチェックメッセージで対応

補強設計案は、現状・補強案(1)～補強(5)まで補強材料を配置行うごとに、診断結果をリアルタイム表示(精密診断結果)チェックできます。耐力壁・筋かい・接合金物・床倍率・開口等の標準仕様の設定がマスタ・ファイル登録平面斜め形状の建物の診断ができます。

補強設計

補強設計出力にて補強方針のコメント・補強部材と補強箇所明細表・補強箇所平面図出力補強金物はN値法及び建物の引抜き耐力選択基礎改修後に部材毎に基礎ランク ~ までの入力変更ができる。

精密診断法 2 による降伏点及び剛性



動作環境 WindowsXP・VISTA・7が作動環境するパーソナルコンピュータ

CPU Core2、Pentium、Celeron2GB以上推奨 メモリ2GB ハード空き容量：500MB以上

一般診断法

出力項目 (一般診断法) 安心精密診断 2012-1

木造住宅の耐震精密診断(表紙・診断員名)
建築物概要
必要耐力の算出
耐力要素の配置等による低減係数用必要耐力強さ P
耐力要素の配置等による低減係数 E
劣化度による低減係数 D
上部構造評点
総合評定 (a)地盤・基礎 (b)上部構造

精密診断法 1・2

出力項目 (精密診断法 1) 安心精密診断 2012-1

木造住宅の耐震精密診断(表紙・診断員名)
建築物概要
各部の構造・地盤・構造計画・各種の係数
壁・軸組(筋交い)の仕様と要素耐力・剛性
仕様の組合せによる壁基準耐力と剛性
必要床面積の算定
必要耐力の算定
壁・柱配置と壁による耐力・剛性
剛性率・偏心率の計算・平均床倍率の計算
偏心率と床仕様による低減係数
保有する耐力の算定
判定
地盤・基礎・水平構面の損傷 他

出力項目 (精密診断法 2) 安心精密診断 2012-2

壁要素の標準骨格曲線
壁要素の耐力低減係数集計による骨格曲線計算
各方向各通り毎の荷重-変形関係曲線
各方向各通り毎の降伏点及び剛性
剛性率・偏心率の計算
ねじれ補正値を除いた荷重-変形関係曲線算出
各階各方向毎に荷重-変形関係曲線を算出
各階各方向毎に降伏点及び剛性を算出
各階各方向毎に終局耐力及び塑性率を算出
通り別重量の算定・剛性率・偏心率係数を考慮した必要保有耐力を算出

各構面の保有する耐力(終局耐力)Qd / 必要保有耐力 Qun より評点判定

軸力・地震力を求め、引抜きより接合金物算定

軸組図(開口付)・伏図・金物伏図

各指定出力帳票をD X F変換

(開発) 株式会社 東京デンコ -
(販売) 株式会社 デジタルデザインシステム
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町2-8-8共同ビル(市場通り)6階67号
TEL03-6661-9141 FAX03-6661-9142
URL <http://www.netdds.co.jp> E-mail info@netdds.co.jp